

此鳥夏秋多ク田澤ニ集リ冬ニ至レバ去ル故、古ヨリ歌人鳴字ヲ用ユ、即和字ナリ、或ハ田鳥ノ字ヲ用ユ、ソノ性能鳴能飛、夜深翅ヲ鳴ス、コレヲ鳴ノ羽搔ト云、歌人賞詠ス、ソノ品類甚多シ、ソノ中尾白シギト呼ブモノ、此條ノ文ニ合ス、形秧雞ニ似テ目淡黒色、嘴淡黑色ニシテ細長ナリ、脚ハ灰色、頭ヨリ翼マデ茶褐色背ハ灰黑色ニシテ小白斑點アリ、目上及喉下ニ白條アリ、胸ハ灰色、腹ハ白色、腋ニ淡黒小斑アリ、尾ハ白色ニシテ淡黒文アリ、此外ニマシギムナグロシギボトシギ一名カヤクマリ、カヤグキ、ハマグラシギ、同名二種、京女シギ、ハジナガシギ、メダイシギ、一名キビシギ二種、キアシシギ、カシハシギ、クビダマシギ、二種、大クビシギ、ムシバミシギ、クサシギ、コシギ、ウスバミシギ、シヤクシギ三種、一名大杓シギ、一名ダイサクシギ、一名中杓シギ、一名山シギ、銅シギ、一名カナシギ、金シギ、ハシギ、尾羽シギ、大膳シギ、田シギ、ヒバルシギ、ピイシギ、セウドウシギ、テリカ子シギ、ムギワラシギ、ガンドウシギ、ウチゴシギ、一名ドウチゴシギ等ノ類尙多シ、

飼養法

〔喚子鳥〕粒餌小鳥の分 何にても水を入る

どうねぎ玄ぎ 玄がひ 生ふ八分あをみ入
紛壹又右同断

大きさすゞめのごとく、總身ねずみ色、せにこいねずみ色のふ有、はしとあしくろし、

大くび玄ぎ 玄がひ 右同断

大きさひばりに大きし、鼠色に白き首玉入、頭に黒きふ有、さあきはまだら鷺、そりばし鷺、きびしきく省略、

右鳴の類あらまし如此、としてかひ鳥に用る事なし籠がひよろしからず、にはこ又ははなしがひよしゑがひは、魚又はむしにて飼なり、すりゑに付かふべし。

〔飼鳥必用〕山鳴